

かけはし

研究によせて

本園・本校は、令和元年度より東京都教育委員会及び荒川区教育委員会のモデル園・校として、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続」を目指した取組をしております。

その背景として、「就学前施設から小学校へ入学する際の子どもたちの困り感の解消」、「就学前施設で最年長児として力を発揮してきた子どもたちが、小学校でも十分に自己を発揮できる環境づくり」が求められていることなどが挙げられます。

幼小の円滑な接続を図るための手立ての一つとして、第七峡田小学校の校舎内に「ななはけラボ」が設置されました。この部屋は、幼児や児童が生活や遊び、学習の中で活用していくことを通して、教育効果をいっそう高めることをねらっています。昨年度から本格的に5歳児、1年生、2年生のいろいろな保育・教育活動において、活用を図っております。

5歳児にとっては、小学校の施設を活用することで、来年度の小学校生活への意欲を高めたり、小学生の活動に刺激を受けたりし、園での生活がさらに充実すると考えています。

1年生にとっては、保育室と似た環境が小学校にも用意されていることで安心感を得たり、自分の今までの生活経験を思い出しながら学校生活や学びに活かしたりできると考えています。

また、2年生にとっては、幼児期から1年生までの学びを想起したり、3年生に向け、学びの視点をより焦点化した学習活動を展開したりできると期待しています。活動の様子は、HPや校内掲示板などでも紹介していきます。

また、子どもの豊かな育ちには、学校・保護者・地域の相互理解や連携が必要不可欠だと考え、研究だよりを通して、その様子を発信していければと思っております。研究のあゆみや子どもたちの学びの様子などをお知らせしてまいります。どうぞ、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

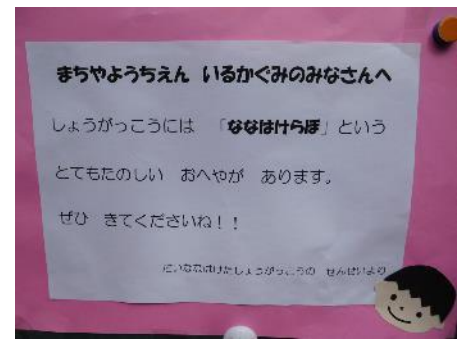
数量や図形にかかわるおもちゃや、季節の自然・行事についての本などを、自由に手に取ることができます。



ななはけラボの環境の一部です

町屋幼稚園 5 歳児 「ななはけラボ」で遊ぼう

ななはけラボは、幼稚園児たちがいつでも遊びに行くことができる部屋ですが、幼稚園児にとって、小学校へ行くということは少々緊張する経験です。今回は初めてななはけラボに行くので、そのハードルを少しでも下げ、ラボでの活動を楽しめるようにと、幼稚園・小学校の教諭で連携をとりながら、このような手紙を用意しました。小学校の先生から手紙が届いたということで、ななはけラボに関心をもつ園児たち。いざ、ななはけラボへ出発です！



小学校の休み時間に、1年生の担任の先生が来てくれました。「このお部屋は、幼稚園のみんなも遊びに来ていいお部屋です。これからもたくさん遊びに来てくださいね」という言葉に、とても嬉しそうな園児たちです。

それぞれの興味関心を高め、安心して過ごせるように

幼稚園では、環境や遊びを通して、それぞれの興味関心を高められるよう配慮しています。ななはけラボでも、園児一人ひとりが好きな遊びを見つけ、楽しんで活動できるよう、様々な遊具や素材を用意しました。園児が自分たちで選び、片付けをしやすいよう、置き方にも配慮をしています。



小学生が使う虫眼鏡を借りて、おたまじゃくしの観察！「あれ？1匹足が生えてきているよ！！」



大きなホワイトボードに形のマグネットを貼って磁石遊び！「三角を2つくっつけると、四角になるね！面白い！」



ホワイトボードとマグネット、トイレトペーパーの芯を使って、玉転がしのコース作り！「坂道の角度を変えると、玉の速さが変わるよ！なぜだろう…？」



幼稚園で作ったものを持ってきて、製作の続き！「ななはけラボにはいろいろな素材があるね！」

幼児期の主体的な遊びは、学びの土台となります。今後も、一人ひとりの探求心を深められるよう、様々な活動を計画していきたいと思います。さらに、小学校を身近に感じる中で、就学への期待をもてるように幼稚園と小学校の連携を行っていききたいと思います。

